

愛犬と絵日記と美術の先生

いわさき智沙

2021年ボローニャ入選作品「愛犬といっしょに」は、むかし祖母が飼っていた犬（ミニチュアシュナウザー）が子犬を生み、そのかわいい子犬たちとの思い出を立体にした作品です。

子犬たちとじゃれあった日々を、当時中学生だった私は「夏休みの絵日記」に描いており、読み返しながら制作しました。

その絵日記の一番最後のページには、美術の先生からいただいたメッセージが、今でも大切に貼っています。

これは、すばらしい宝物に育ち
 思います。
 絵は、その時々、気持ちや
 心のゆとりがあらわれています。
 何年かたって、
 つらいことや 苦しいことに出あった時、
 き、と
 やさしい、おおらかさに おふれた
 このノートが、すくってくれたことと思ひ
 ます。
 ときねば
 これからも つづけてください。



昨年SNSで先生とつながり、ボローニャ入選のご報告と、何十年ごしの感謝の気持ちをお伝えすることができました。

恩師と再会させてくれた、私のボローニャです。



「愛犬といっしょに」 粘土・アクリル絵の具・色鉛筆・写真